

新年おめでとうございます



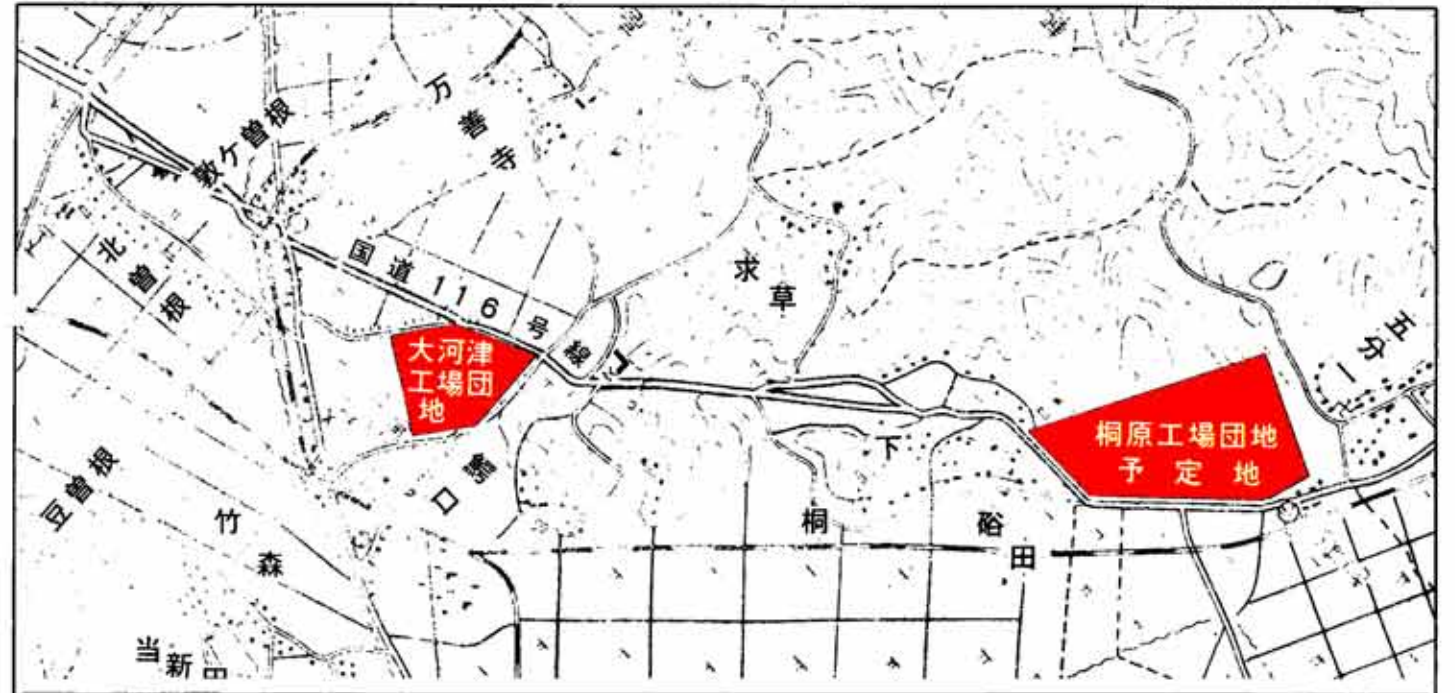
カーフェリー就航待つ寺泊港

昭和四十八年の新春を迎え町民各位に謹んで新春の御慶びを申し上げ皆様様の益々の御清祥を祈念いたします。 元日や昨日の 鬼が礼に来る ほんとうにあわただしかった師走、選挙の騒音も消えて静かな正月、なんとなく精氣溢れる希望に輝く年のような気がいたします。 今年には待望の佐渡航路、寺泊赤泊間にカーフェリーが六・七・八の三カ月就航します。又寺泊小学校の新築工事も三月末竣工の予定で近代的設備のモダン校舎は生徒諸君の勉学の場として快適なものとなるでしょう。 産業関係では農工一体の国の施策に依る工場団地が五分一地区に実現の気配が感じられます。 今年こそ町勢躍進の年とするため一層の努力を払う覚悟でございます。 皆様の変らぬ御支援とご鞭撻を御願ひ申し上げ年頭のご挨拶といたします。



寺泊町長 藤田子男

年頭のご挨拶



“桐原地区”に 農村工業団地を!!

地域振興に最も手じかな施策として、かねに工場誘致がさげられたのが数年前でしたが、もすれば自然的立地条件が無視される形で開発され、近來各地で工場誘致のひづみが公害とゆう結果となっております。 しかしながらこれらの事実を、慎重に再検討し計画的な環境保全対策や地域と工業との協調体制を計り、自然的立地条件を生かした進め方で効果的な土地利用が達せられるならば、おおいに地域の発展になるものと、数年代のうつり変りを見つめてきた桐原地区四部落(五分一・木島・裕田・下桐)では、国の工場再配置等の施策をみきわめながら工場団地の指定申請にふみきり数回にわたる国庫の現地調査により指定見込ありとして過日あらためて桐原工場団地造成組合の推進を確認し組合役員も改選され町当局・町議会の行政指導を希って強力にこれが目標達成に乗りだしました。 町も近來急速に需用のある海岸線地帯の観光施設対策や、両汽航路再開による将来計画、さらに土地利用等の長期開発計画を樹立するための企画開発課を新設し新年度より発足することになりましたので、この桐原工場団地の推進についても熱意ある造成組合の姿勢にこたいて行政指導をなし、公害のない優秀企業の誘致を成功させこの国道一六号線地域を豊かな田園工業地区としたいものであります。



役場はどんな仕事をしてますか? そのお金はどこからでるのですか? ※熱心に町長の話をきく 山の脇小学校3年の役場見学...



“植おともたかく 竣工を急ぐ寺泊小学校校工事” 本年度の最も大きな事業であります寺泊小学校新築工事は三階までの本体工事を年内にあらかたおわり、さらに冬空のあいまをみて内部工事がどんどん進められております。 やがて春さきはモダンな近代的建築様式の白亜の校舎ができあがるものと児童達も父兄のみなさんも大きな期待を寄せております。



昭和48年6月就航< 寺泊の年中行事 - 4月1日 寺泊スカイライン開通 6月中旬 寺泊・野橋海岸清掃 6月6日 港まつり前夜祭 6月7日 港まつり花火大会 寺泊港⇄赤泊港カーフェリー